２．教科に関する調査の結果（概要）

（１）調査問題の内容、課題等、指導改善のポイント

○調査問題の内容

学習指導要領に示されている５つの領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」）別の目標及び内容に基づき、全ての領域から出題している。なお、中学校第２学年までの内容となるようにしている。

（例）■ 話を聞き、概要を捉える（「聞くこと」の領域）
■ 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る（「読むこと」の領域）
■ 短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書く（「読むこと」、「書くこと」の領域）
■ 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して話す（「話すこと[やり取り]」の領域）
■ 話を聞いて、考えとその理由を話す（「話すこと[発表]」の領域）

○課題等

聞くこと

◇ 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して聞くことはできている。〔1〕
◇ 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることはできている。〔2〕
◇ 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることはできている。〔3〕
◆ 日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることに課題がある。〔4〕
◆ 社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることに課題がある。〔5〕

読むこと

◇ 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して読むことはできている。〔6〕
◇ 日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることはできている。〔7〕
◇ 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることはできている。〔8〕
◆ 日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることに課題がある。〔9〕
◆ 社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉えることに課題がある。〔10（１）〕

書くこと

◆ 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことに課題がある。〔10（２）〕
◆ 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して書くことに課題がある。〔11①、②〕
◆ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。〔12、13、14〕

話すこと［やり取り］

◆ 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して話すことに課題がある。〔15〕

話すこと［発表］

◆ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことに課題がある。〔16、17、18〕
◆ 社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことに課題がある。〔19〕

◇…比較的できている点　◆…課題のある点　〔 〕内は、問題番号

○指導改善のポイント

聞くこと

○　話を聞いて、概要を捉える指導の充実

話題を把握した上で、特定の部分にのみとらわれることなく、全体としてどのような話のあらましになっているのかを捉えることが重要である。指導に当たっては、話の最初から最後まで通して聞き、聞き取った情報や、情報と情報との関係、展開を表す表現などから場面の移り変わりを整理させることが大切である。その後、話を聞き、どのように場面の移り変わりを整理したのかをペアやグループで伝え合ったり、学級全体で確認したりすることが考えられる。

読むこと

○　文章を読んで、要点を捉える指導の充実

文章全体を通して読み、文章から取り出した複数の情報を比較することで、どの情報が最も重要であるかを判断することが重要である。指導に当たっては、文と文との関係を捉え、段落内の情報と情報との関係、段落と段落の関係などの文章全体の構成を理解することが大切である。また、文章を読んだ後で、書き手が最も伝えたいことは何か、なぜそう考えたのかを話し合う活動なども考えられる。

書くこと

○　社会的な話題に関して読んだことについて、考えと理由を書く指導の充実

文章を読み、書き手が最も伝えたいことを捉え、それについて感じたことや考えたことを、理由とともに書くことが重要である。指導に当たっては、文章を読んで要点を捉え、自分の考えとその理由をキーワードとしてメモなどに整理させた後、自分の考えとその理由を書くことが考えられる。書いた文章に対して生徒同士でコメントさせたり、教師がフィードバックを与えて表現を考えさせたりすることで文章を推敲することも大切である。

話すこと［やり取り］

○　事実や自分の考えなどを即興で伝え合う指導の充実

「即興で伝え合う」とは、話すための原稿を事前に用意してその内容を覚えたり、話せるように練習したりするなどの準備時間を取ることなく、不適切な間を置かずに相手と事実や意見、気持ちなどを伝え合うことである。指導に当たっては、ペアでやり取りを行った後、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じてやり取りをするための視点や必要な表現を共有し、相手を変えて再度やり取りを行うなど、やり取りを繰り返し行うことが大切である。

話すこと［発表］

○　事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある内容を話す指導の充実

聞き手に伝わるように、１つのテーマに沿った発表をしたり、内容に一貫性があるスピーチをしたりするなどまとまりのある内容を話すことが重要である。指導に当たっては、「話すこと［やり取り］」の活動を充実させ、まとまりのある内容を話すことにつなげることが大切である。また、簡単な「話すこと［発表］」の活動を繰り返し行い、徐々に発話する量を増やしていくことが大切である。４文、５文と話す内容が増えてくると、話す内容や構成を整理する必要が出てくるため、その段階でキーワードなどをメモに書かせることが考えられる。

知識及び技能

○　音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して、聞く、読む、話す、書く技能を身に付ける指導の充実

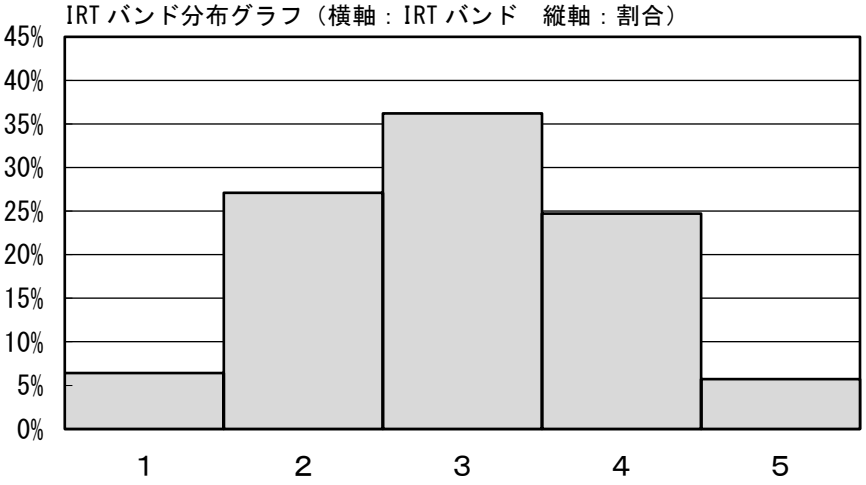
音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するだけではなく、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できるようにすることが重要である。指導に当たっては、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを意識し、実際に英語を用いた言語活動を行い、必要に応じて言語材料について理解したり練習したりするための指導を行うことが大切である。また、既習事項を繰り返し活用したり、既習事項と新出事項を比較して関連する文法事項を整理したりすることも大切である。

（２）集計結果（正答等の状況）
【英語（４技能)】

○IRT スコア・IRT バンドは、「聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと」の英語４技能を統合したもので、「話すこと」の当日実施校（46,645 人分）のデータに基づいて全国値を算出している。

平均 IRT スコア	標準偏差	パーセンタイル値		
		25%	50%	75%
499	108.1	422	498	575

IRT バンド分布グラフ（横軸：IRT バンド　縦軸：割合）



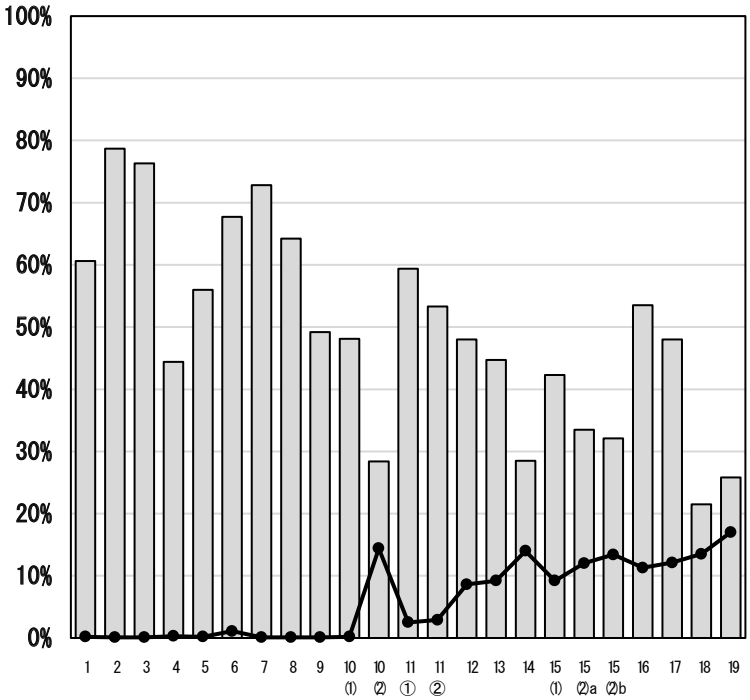
IRT バンド集計値

IRT バンド	全国（国公私立）	
	生徒数	割合(%)
5	2,674	5.7
4	11,518	24.7
3	16,869	36.2
2	12,620	27.1
1	2,964	6.4

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数（問）
学習指導要領の領域	聞くこと	5
	読むこと	5
	話すこと［やり取り］	3
	話すこと［発表］	4
	書くこと	6
評価の観点	知識・技能	7
	思考・判断・表現	16
	主体的に学習に取り組む態度	0
問題形式	選択式	10
	短答式／口述式	5
	記述式／口述式	8

問題別正答率「棒」・無解答率「折れ線」
（横軸：問題番号、縦軸：生徒の割合）



※公開問題には、調査対象の生徒全員が取り組む問題と一部の生徒が取り組む問題があるため、各設問の調査実施生徒数が異なる。

問題別集計結果

○英語「聞くこと・読むこと・書くこと」の３技能については４月 20 日（月）～４月 24 日（金）、英語「話すこと」については４月 24 日（金）～４月 27 日（月）に調査を受けた全国の生徒の正答率を示している。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率（％）	無解答率（％）	問題の難易度	全国（国公私立）対象生徒数
			聞くこと	読むこと	話すこと［やり取り］	話すこと［発表］	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式／口述式	記述式／口述式				
1	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	○※					○			○			60.6	0.2	4	861,464
2	ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			78.7	0.1	3	295,144
3	学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			76.3	0.1	3	283,126
4	職場体験についての発表を聞き、その後に示される3枚の絵を体験した順になるように選択する	日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる	イ						○		○			44.4	0.3	4	283,194
5	住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ						○		○			56.0	0.2	4	861,464
6	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる		○※				○			○			67.7	1.1	3	861,464
7	誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる		ア					○		○			72.8	0.1	3	295,754
8	友達からのメッセージを読み、相手が示した条件に合うウェブサイトを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる		ア					○		○			64.2	0.1	3	282,886
9	物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものを選択する	日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるかどうかをみる		イ					○		○			49.2	0.1	5	282,824
10（1）	インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる		ウ					○		○			48.1	0.2	4	861,464
10（2）	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く						ウ		○				○	28.4	14.4	5	861,464

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率（％）	無解答率（％）	問題の難易度	全国（国公私立）対象生徒数
			聞くこと	読むこと	話すこと［やり取り］	話すこと［発表］	書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式／口述式	記述式／口述式				
１１①	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる					ア	○				○		59.4	2.5	3	861,464
１１②							ア	○				○		53.3	2.9	3	861,464
１２	中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	48.0	8.6	4	295,673
１３	留学生との交流会で一緒にしたいことを１つ取り上げ、その理由を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	44.7	9.2	4	282,886
１４	学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	28.5	14.0	4	282,905
１５（１）	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に明日の天気を伝える	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる			○※			○				○		42.3	9.2	5	46,096
１５（２）ａ	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生からの質問を聞き、明日しようと思っていることを伝える				○※			○				○		33.5	12.0	4	25,779
１５（２）ｂ	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に自分の家に来てもらうように依頼する				○※			○				○		32.1	13.4	4	20,317
１６	留学生と一緒にしたいことを１つ取り上げ、その理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる				イ			○				○	53.5	11.3	4	15,252
１７	自分の好きな人物を1人取り上げ、好きな理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる				イ			○				○	48.0	12.1	4	15,577
１８	自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を１つ取り上げ、その理由を話す	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる				イ			○				○	21.5	13.5	5	15,267
１９	学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す	社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる				ウ			○				○	25.8	17.0	5	46,096

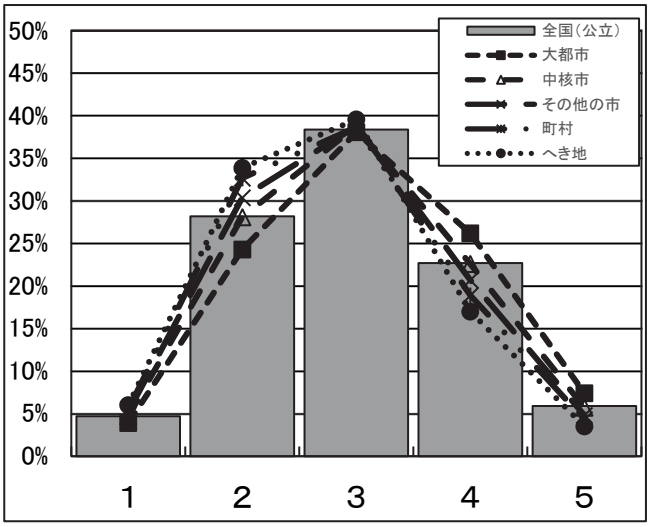
※「学習指導要領の領域」における「○」は、五つの領域別の目標に分類されない「知識及び技能」を示している。

（３）地域の規模等の状況

○　平均 IRT スコア、中央値、標準偏差を見ると、地域の規模等（公立：大都市、中核市、その他の市、町村、へき地）による大きな差は見られないが、大都市とへき地の間には平均 IRT スコアや分布に若干の差が見られる。

［英語３技能］

IRT バンド分布グラフ（横軸：IRT バンド、縦軸：生徒の割合）



	生徒数	平均IRTスコア	中央値	標準偏差
全国(公立)	839,203 人	499	494	113.7
大都市	213,572 人	514	511	115.5
中核市	195,637 人	499	494	112.8
その他の市	347,325 人	490	485	110.8
町村	72,679 人	484	476	108.8
へき地	12,313 人	477	470	106.1

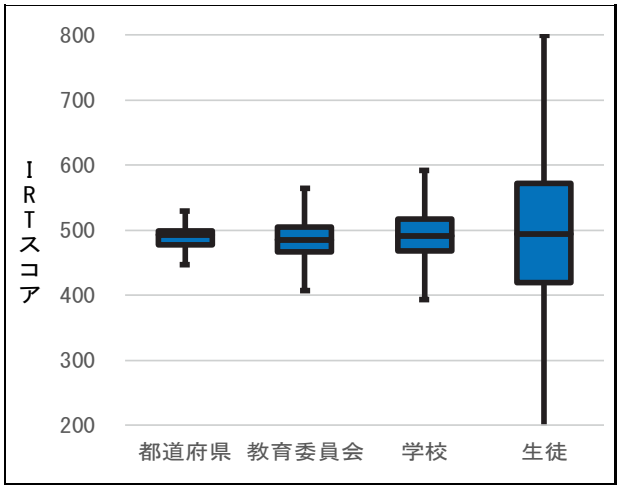
※大都市（政令指定都市及び東京 23 区）、中核市、その他の市、町村の値は、当該地方公共団体の教育委員会が設置管理する公立学校に在籍する生徒の調査結果（IRT スコア）を集計したものである（都道府県立学校は含まない）。
※へき地の値は、へき地教育振興法及び各都道府県の条例（規則）によって指定された学校に在籍する生徒の調査結果を集計したものである。大都市、中核市、その他の市、町村の値に重複する。

（４）都道府県・指定都市、教育委員会、学校の状況

○　都道府県・指定都市別の平均 IRT スコアについては、ばらつきの状況は極めて狭い範囲内に収まっている。各教育委員会、各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均 IRT スコアの標準偏差を見ると、前回調査と比べ、ばらつきに大きな変化は見られない。

［英語３技能］

箱ひげ図

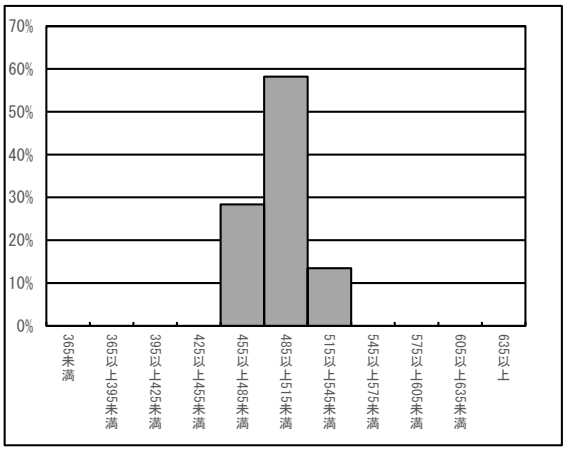


	都道府県	教育委員会	学校	生徒
IRTスコア	491.0	488.6	494.4	499.4
第３四分位	498.5	505.5	517.7	571.4
第２四分位	493.1	485.8	491.4	494.1
第１四分位	478.1	466.0	467.9	419.4
標準偏差	15.1	39.2	43.7	113.7

※都道府県は指定都市を含む。

①都道府県・指定都市の状況［英語３技能］

IRT スコア分布グラフ（横軸：IRT スコア分布、縦軸：都道府県市の割合）



全国（公立）の平均IRTスコア	全都道府県市（公立）中、最高平均IRTスコア【全国との差】	全都道府県市（公立）中、最低平均IRTスコア【全国との差】
495	533【+38】	464【-31】

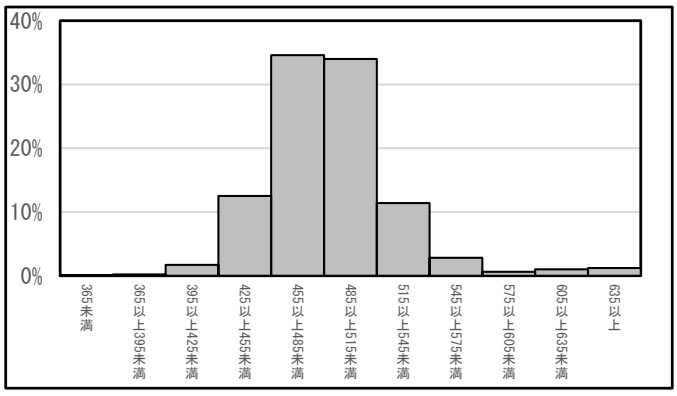
全国都道府県市数	全国都道府県市(公立中)の平均IRTスコア	全国都道府県市(公立中)の中央値	全国都道府県市(公立中)の標準偏差
67	495	495	17.2

※都道府県は指定都市を除く。全国（公立）の平均 IRT スコアは整数値で表示している。

②教育委員会の状況［英語３技能］

教育委員会数	教育委員会の平均IRTスコア	教育委員会の中央値	教育委員会の標準偏差
1,778	489	486	39.2

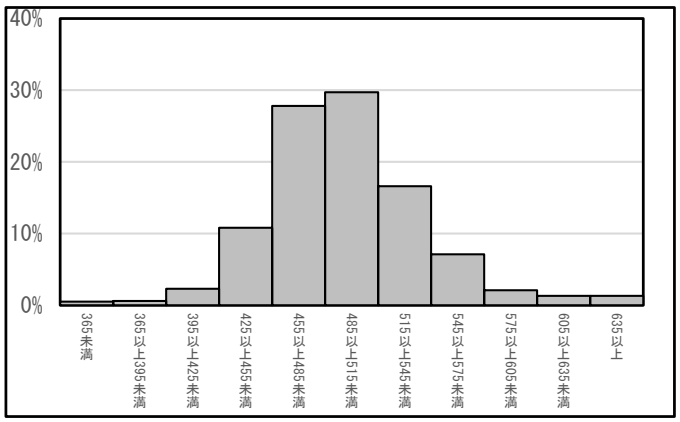
IRT スコア分布グラフ（横軸：IRT スコア分布　縦軸：教育委員会の割合）



③学校の状況［英語３技能］

学校数	学校の平均IRTスコア	学校の中央値	学校の標準偏差
9,303校	497	492	46.2

IRT スコア分布グラフ（横軸：IRT スコア分布　縦軸：学校の割合）

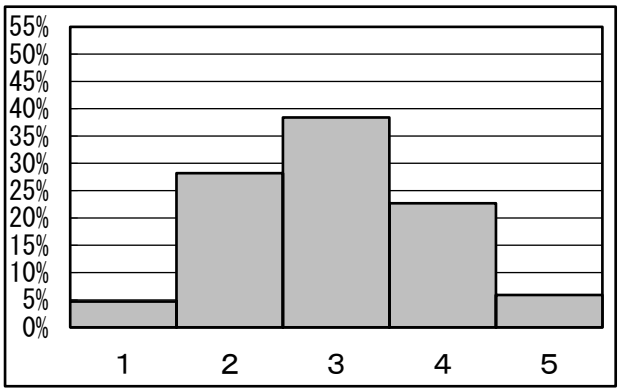


（５）国・公・私立学校の状況

○　国立・私立学校は一般的に入学者選抜を行っていることに留意する必要があるが、平均 IRT スコアについて見ると、国立・私立学校は、公立学校を上回っている。

［英語３技能］

＜公立＞　IRT バンド分布グラフ（横軸：IRT バンド　縦軸：生徒の割合）

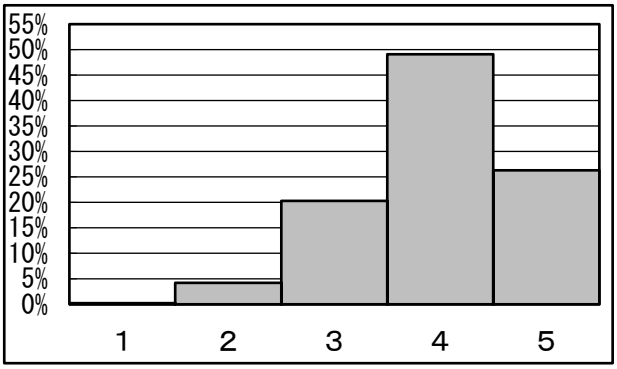


生徒数	平均IRT	中央値	標準偏差
839,203人	499	494	113.7

IRT バンドと IRT スコアの対応

IRTバンド	1	2	3	4	5
IRTスコア	～329	330～443	444～558	559～673	674～

＜国立＞　IRT バンド分布グラフ（横軸：IRT バンド　縦軸：生徒の割合）

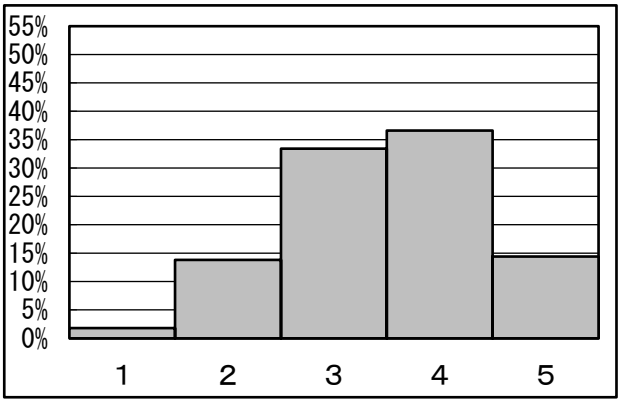


生徒数	平均IRT	中央値	標準偏差
8,945人	624	620	107.3

IRT バンドと IRT スコアの対応

IRTバンド	1	2	3	4	5
IRTスコア	～329	330～443	444～558	559～673	674～

＜私立＞　IRT バンド分布グラフ（横軸：IRT バンド　縦軸：生徒の割合）



生徒数	平均IRT	中央値	標準偏差
13,316人	562	562	118.5

IRT バンドと IRT スコアの対応

IRTバンド	1	2	3	4	5
IRTスコア	～329	330～443	444～558	559～673	674～